



「ふたば」

令和2年 6月3・4日号

「夢がつながる 学びのエリア」

板橋五小・板橋十小・板橋二中

学校再開

校長 大沼 文雄

3月2日午後から板橋区では小中学校の臨時休校が始まりました。卒業式や修了式はなんとか行えたものの、例年とは全く違う内容となり、特に卒業生には寂しい思いをさせてしまいました。新年度を迎え、9年生・8年生の始業式を行いました。翌4月7日には全国に緊急事態宣言が発出され、板橋区では中学校の入学式が急遽延期となりました。その後、5月4日に緊急事態宣言の期間延長が決まり、入学式は中止となり、「Stay Home」の時期が続きました。先週までの約3ヶ月間は、今までに経験したことのない重苦しく、先が見えない時間を過ごすこととなりました。

その期間がようやく終わり、「分散登校」という変則的な形ではありますが、約3ヶ月ぶりに学校生活が再開しました。生徒の表情は、学習支援日に来校したときよりも生き生きと見えました。交わす挨拶の声にも張りがあるように感じ、「いかに生徒が学校生活を待ち望んでいたのか」を痛感しました。そして、7年生の緊張した面持ちは大変印象に残りました。

これから始まる学校生活では様々な面で今までとは違うことがあります。まずは、健康管理面についてです。写真右は9年生男子の登校風景です。昇降口に入る前に「健康カード」による健康チェックを行っています。体温を図り忘れた場合は、隣接するランチルーム前で検温してから校舎内に入り、教室に向かいます。チェックを受ける生徒が「密」にならないよう、距離の目安にコーンを置きました。これまでの来校時にも同様の取組をしているので、生徒は慣れた様子です。3日からは、受付を増やして、「3密」にならないように工夫していきます。その下の写真は、入校後に教室に入る前、手指洗浄を行っている場面です。学校では、消毒液を用いずに液体石けんでの手指洗浄を徹底します。今後、しばらく同様の取組が続きます。3日から、給食が始まりますので、より一層、徹底させていきます。



とは言え、これから学校生活が続くと感染の可能性は高まることが予想されます。板橋第二中学校では、その可能性を限りなく「0（ゼロ）」にするため、保護者の皆様・生徒の皆さんに協力をお願いしています。1日・2日に「学校再開時の感染症予防の取組について」を配布しました（裏面参照）。「確認書」のご提出、そして学校の取組にご理解とご協力をお願い申し上げます。

報道にあるように、小中学校で感染者が出た地域があります。学校でクラスター発生の恐れもあります。板橋第二中学校はもちろん、板橋区内の学校で1人も感染者が出ないことを強く願っています。しばらくは窮屈に感じることがあると思います。我慢を強いることもあります。しかし、「チーム板橋二中」全員で意識を高く保ち、感染症に負けない「新しい生活様式」を徹底していきましょう。

さて、5月29日お昼過ぎに航空自衛隊アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」による、新型コロナウイルスへの対応を続ける医療従事者の方々への感謝と激励の意を表すための特別飛行が行われました。ちょうど板橋区上空を通過するというので私も上空を見上げていました。すると、澄み渡る青空の中に真っ白なスモークラインが、これまでの沈鬱な気分を吹き飛ばすように、鮮やかに描かれました（写真右）。私は、医療従事者の方々への敬意を込めて見上げていましたが、素晴らしい光景に自分自身が励まされている気がしてきました。



生徒の皆さんは、学校再開を心待ちに楽しみにしていた人が多かったことと思います。しかし、中には新たに始まる学校生活に不安を覚えている人もいるのではないかと感じます。もし、そう感じている人がいたら遠慮無く先生方に相談してください。板橋二中では、6月4日から担任の先生を中心とした面談を行います。これまでの生活とこれからの生活、生徒皆さんの精神的支えとなる取組を実施します。保護者の皆様にも、お子様の様子で気に掛かるようなことがありましたら、遠慮無く学校までご相談ください。これから始まる新しい学校生活が、お子様にとってより充実したものになるように、一緒に歩いていきましょう！

感染症の予防には引き続き高い意識と取組が必要です。学校生活においても、「新たな生活様式」の中で生徒が安心して、安全に過ごしていくよう努めます。

引き続き、ご理解とご協力を、宜しくお願いいたします。

チーム板橋二中、ファイト！

